

# 序

神谷学園理事長神谷哲郎先生及び東海女子短期大学学長神谷真弓子先生は2007年4月から男女共学として校名を東海学院大学と改名し、新しい大学のスタートを決断されました。『国際的視野を備えた創造性と行動力をもつ教養人の育成』を建学の精神として、学生に人間のこころとからだの健康、幸福、福祉を研究教育することを目的として人間関係学部には心理学科と子ども学科を、健康福祉学部には総合福祉学科と食健康学科（本年4月発足）を設置している。こうした中で本紀要の第1号が創刊されることはまことに喜ばしく、慶賀に耐えない次第である。

顧みれば本『東海学院大学紀要』の前身『東海女子大学紀要』は本学の創立と同時に創刊され、26号を数え、数々の名論文を発表してきたがそれを引き継ぎ、本号は通巻27号である。本学紀要は毎年欠かすことなく発刊され、毎号に10名以上の寄稿者を連ねたが年次によっては20篇以上となって320ページ以上を飾ってきている。

研究紀要は大学研究者の発表の窓口であり、教員相互のデスクッションの場である。優れた研究論文は国内外の学会誌に投稿できるが、その機会も限られている。研究教育の活性化のためにとりわけ、教育論文を発表するなど投稿論文がますます拡大することを期待するものである。

本創刊号は25編の寄稿論文があり、過去最高の投稿数であることは皆さんの研究に対する熱意の表れであり、慶賀に耐えないもので、創刊号にふさわしい記念すべきものである。

ここに東海学院大学紀要第1号（通号27号）を発刊するに当たり、本学の発展と本研究紀要がますます発展することを祈念し、あわせて本号の執筆者並びに編集委員長と委員各位に深謝する次第である。

平成20年2月20日

東海学院大学学長

杉山道雄